

『ヴァイオリン・ハンドブック』訂正・変更

●訂正

下記の記載箇所は誤字につき、お詫びのうえ訂正いたします。

太字が正しい表記です。

正目 → 柁目

P.194 上から14行目、図22①

P.195 上から 4行目、10行目

P.201 上から 5,6行目、下から10行目、図28

P.202 上から 1行目、下から11, 14行目

痣ができないたら → 痣ができていたら

P.127 下から 3行目

小口 → 木口

P.57 下から 7行目

P.83 上から 8行目

P.196 上から12行目

木質 → 材質

P.115 上から 9行目

材木 → 木材

P.187 下から13行目

●変更

松 → スプルース (松)

P.94 下から 7行目

P.191 下から 6,7行目

P.194 上から 4行目、図22①

P.200 下から13行目、図27①

P.204 上から12行目

※ヴァイオリン属の表板に使われる樹種は、マツ科トウヒ属のヨーロッパトウヒ（英語ではスプルース）ですが、ヴァイオリン業者間の慣行として「松」と称されていることから、本書でも「松」と表記してまいりました。但しこの「松」は、日本国内で広く見られるマツ科マツ属のアカマツやクロマツなどとは別の樹種です。このほど読者の方からご指摘をいただき、こうした混同を避けるため、上記の通り表記変更させていただくことになりました。何卒ご了承いただきたくお願い申し上げます。